

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 平成27年度予算について〔40分〕</p> <p>鶴財第400号 平成26年10月3日鶴ヶ島市長より、平成27年度予算編成方針についての通知があり、また鶴財第401号において、総合政策部長より予算編成における留意事項について、各部長、課長に通知があり、予算編成がなされました。</p> <p>そこでこの通知が、どのように予算編成の中に生かされているのか、いくつかの点について、お伺いいたします。</p> <p>（1）歳入について、市税等の収納率の向上策、使用料及び手数料、財産収入、広告料収入等の増収策を積極的に検討し、あらゆる創意工夫による自主財源の創出に努めること、とありますが、どのように反映されているのかお伺いします。</p> <p>（2）義務的経費の抑制について、この中で人件費については、平成25年度決算で41億円となり、歳出に占める割合が20%を超え、本市の財政硬直化の大きな要因になっているので、正規職員数410人以下を目標とし、一般職非常勤職員についても、最小人員に抑制することで人件費の削減を図ること、とありますがどのように反映されているかお伺いします。</p> <p>（3）滞納対策の強化について、学校給食費、保育料、入学準備金貸付金等のすべての債権について、これまで以上に未納者対策の強化に努め、収入の確保を図ること、とありますがどのように反映されているかお伺いします。</p> <p>（4）定員管理の適正化について、一般職非常勤職員については、人事課との協議を進める中で真に必要とされる雇用形態・職員数等について、抜本的な見直しを行い予算要求すること、とありますがどのように反映されているかお伺いします。</p> <p>（5）退職地方公務員の雇用と、年金受給開始を確実に連携するための、再任用制度を積極的に検討したうえで、別に示す職員定員のなかで要求すること、とありますがどのように反映されているかお伺いします。</p> <p>（6）補助金及び交付金について、団体等の運営費、奨励的な補助金及び交付金については、廃止を含め抜本的な見直しを行うこと、とありますがどのように反映されているかお伺い</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>いたします。</p> <p>（7）市民協働のまちづくりで、より一層の高齢者の就業及び社会参加の促進を図るため、シルバー人材センターの積極活用を検討すると同時に、民間への新規事業の拡大等によりシルバー人材センターが自主性、自立性を高める取り組みを支援することについても、検討すること、とありますがどのように反映されているかお伺いいたします。</p> <p>（8）イベント及び関係団体の事業の見直しで、イベント及び市が事務局を務める関係団体の事業については、職員の関わり方を含め、将来を見据えて、統合・廃止を積極的に検討すること、とありますがどのように反映されているかお伺いします。</p> <p>（9）一部事務組合負担金について、他の構成団体と連携して組合財政の健全性の確保に努めること、とありますがその取り組みについてお伺いします。</p>	